

H23 「自然科学概論Ⅱ 原子力セミナー」

例年、自然科学概論Ⅱの授業で実施している「原子力セミナー」では、テーマとして「地球環境問題と原子力について考える」を取り上げていた。しかし、今回は、福島第一原発事故を受けて、従来とは違った内容となった。

事前にまとめたクラスの班ごとの意見、提案内容(放射線、放射性物質、身の回り(茨城県)の状況、健康への影響等)の発表を行い、その後研究員の講義及び質疑応答となった。

1 日 時 平成23年7月11日(月)～12日(火) 5～6限(13:30～15:30)

2 対象者 2年1組～7組 「自然科学概論Ⅱ」授業選択者

3 場 所 各教室

4 講 師 日本原子力研究開発機構/地層処分研究開発部門 研究員 8名
(茨城大学工学部 小峯教授 , 他学生3名)

5 実施内容

○クラスの班ごとの意見、提案内容(放射線、放射性物質、身の回り(茨城県)の状況、健康への影響等)の発表、研究員の講義及び質疑応答。

○主な意見・質問

- ① メルトダウンとは？
- ② 放射能測定単位(ベクレル、シーベルト)の数字の意味
- ③ 自然エネルギー、代替エネルギーの今後の展望
- ④ 福島第一原子力発電所の原子炉の構造と被害状況
- ⑤ チェリノブイリとの比較(事故、被害状況)
- ⑥ 原子炉の事故の終息

【授業風景】

